



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月6日

上場会社名 株式会社パルグループホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2726 URL <http://www.palgroup.holdings/>

代表者（役職名） 代表取締役会長 兼社長 （氏名） 児島 宏文
問合せ先責任者（役職名） 取締役専務執行役員 経営企画本部長 （氏名） 為田 招志 （TEL）(06) 6227-0308
半期報告書提出予定日 2026年10月6日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 （アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	121,931	4.1	14,254	1.1	14,216	1.0	9,428	2.6
2026年2月期中間期	117,082	15.6	14,095	19.4	14,069	17.7	9,186	19.8

（注）包括利益 2027年2月期中間期 9,440百万円（2.5%） 2026年2月期中間期 9,208百万円（19.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	54.36	—
2026年2月期中間期	52.90	—

（注）当社は、2025年9月10日を基準日（2025年9月11日を効力発生日）として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、2026年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり中間純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期中間期	153,185	87,646	55.5
2026年2月期	164,496	86,167	50.8

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 85,021百万円 2026年2月期 83,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2027年2月期	—	0.00	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）2. 当社は2025年9月10日を基準日（2025年9月11日を効力発生日）として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2026年2月期における期末配当金については、当該株式分割後の内容を記載しております。

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	253,000	7.8	29,400	8.3	29,400	8.4	19,000	7.3	109.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期中間期	185,088,000株	2026年2月期	185,088,000株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	12,051,494株	2026年2月期	11,441,694株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年2月期中間期	173,433,039株	2026年2月期中間期	173,646,266株

(注) 当社は、2025年9月10日を基準日（2025年9月11日を効力発生日）として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、2026年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変更があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2026年3月1日から2026年8月31日まで)におけるわが国経済は、高水準の賃上げに伴う実質賃金のプラス転換により、若年層を中心にファッション消費が活発化したほか、インバウンド消費も引き続き堅調に推移いたしました。一方で、中東情勢の不透明感が消費者の生活防衛意識を高めたことに加え、人手不足やコスト高、円安に伴うインフレ懸念など、先行きは引き続き不透明感が強い状況です。海外経済においても景気の二極化が一段と進むなど、内外ともに予断を許さない経営環境となりました。

このような事業環境のもと、当社グループの衣料事業におきましては、ヤングカジュアルブランドが好調に売上を伸ばしたほか、4週間MDサイクルにより店舗の鮮度を高めた結果、店舗売上が回復軌道に乗りました。さらに、当中間連結会計期間末時点で社員インフルエンサーのSNS総フォロワー数が2,800万人を超え、自社ECプラットフォーム「パルクローゼット」の会員数が前年同期末比で200万人超増加し1,456万人となるなど、顧客基盤の構築が一段と進展いたしました。これらの強固な顧客基盤を背景に、SNSマーケティングやECにおける先行予約・購買行動等から得られるデータを分析し、トレンド変化の早期把握や適時適量発注の精度向上へと繋げております。これらの取り組みを通じて在庫管理を徹底し、プロパー販売の強化および値引き販売の抑制を図った結果、売上総利益率は大きく向上いたしました。

その結果、衣料事業の売上高は、前年同期比3,893百万円増加の74,475百万円、営業利益は、前年同期比476百万円増加の9,424百万円となりました。

また、雑貨事業におきましては、商品の付加価値に応じた適正価格の設定に加え、初期発注数量のコントロールによる廃棄削減に注力した結果、売上総利益率は高い実績であった前年同期をさらに上回りました。売上面につきましては、中間連結会計期間全体として気温変動や自然災害等に大きく左右される推移となりました。売上高の伸びが期初想定を下回り、人件費を中心とする販管費の伸びが上回ったことから、営業利益は前年同期比で減少いたしました。

販売施策におきましては、新規出店や移転増床による店舗大型化を推進するとともに、「3COINS」における新商品の開発・投入を継続いたしました。加えて、当期首より同ブランドのEC倉庫を衣料事業と統合し、自社ECプラットフォーム「パルクローゼット」における衣料と雑貨の同梱発送を可能とすることで、クロスセル効果を狙ったEC販売の強化を図っております。また、下期に向け商品開発担当チームの人員・体制を増強し、商品開発力を高めることで魅力ある新商品を戦略的に投入し、売上拡大を推進してまいります。

さらに、海外展開におきましては、4月に香港3号店「エアサイド店」、9月に台湾1号店「誠品生活武昌店」を出店し、アジアエリアにおける出店加速と認知度向上を図ってまいります。

その結果、雑貨事業の売上高は、前年同期比1,087百万円増加の47,366百万円、営業利益は、前年同期比323百万円減少の4,814百万円となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、121,931百万円(前年同期比4.1%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は14,254百万円(同1.1%増)、経常利益は14,216百万円(同1.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は9,428百万円(同2.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて11,311百万円減少し、153,185百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少12,412百万円、商品及び製品の減少711百万円、受取手形及び売掛金の増加817百万円、有形固定資産の増加420百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて12,790百万円減少し、65,538百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少6,219百万円、電子記録債務の減少5,766百万円、役員賞与引当金の減少1,011百万円、長期借入金の増加651百万円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,479百万円増加し、87,646百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加2,316百万円、自己株式の増加848百万円(純資産は減少)等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月7日に「2026年2月期決算短信」で公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	96,264	83,851
受取手形及び売掛金	13,076	13,894
商品及び製品	18,083	17,371
その他	1,335	1,633
流動資産合計	128,759	116,751
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,152	11,354
その他（純額）	3,036	3,255
有形固定資産合計	14,189	14,609
無形固定資産	739	775
投資その他の資産		
差入保証金	14,382	14,616
その他	6,507	6,513
貸倒引当金	△81	△81
投資その他の資産合計	20,808	21,048
固定資産合計	35,737	36,433
資産合計	164,496	153,185
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,719	19,500
電子記録債務	11,003	5,236
短期借入金	800	990
1年内返済予定の長期借入金	228	201
未払法人税等	5,018	4,608
賞与引当金	3,232	3,058
ポイント引当金	267	277
役員賞与引当金	2,052	1,040
その他	10,441	10,224
流動負債合計	58,762	45,138
固定負債		
長期借入金	11,390	12,041
退職給付に係る負債	1,705	1,763
役員退職慰労引当金	501	391
資産除去債務	5,131	5,334
その他	838	868
固定負債合計	19,567	20,400
負債合計	78,329	65,538

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,181	3,181
資本剰余金	4,478	4,478
利益剰余金	79,266	81,582
自己株式	△3,672	△4,521
株主資本合計	83,253	84,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	24
為替換算調整勘定	40	78
退職給付に係る調整累計額	233	198
その他の包括利益累計額合計	295	301
非支配株主持分	2,618	2,624
純資産合計	86,167	87,646
負債純資産合計	164,496	153,185

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	117,082	121,931
売上原価	50,208	51,498
売上総利益	66,874	70,432
販売費及び一般管理費	52,778	56,178
営業利益	14,095	14,254
営業外収益		
受取利息	10	16
受取ロイヤリティー	4	4
為替差益	21	2
その他	55	72
営業外収益合計	92	96
営業外費用		
支払利息	79	104
その他	38	29
営業外費用合計	117	134
経常利益	14,069	14,216
特別損失		
固定資産除却損	3	22
減損損失	131	233
特別損失合計	135	256
税金等調整前中間純利益	13,934	13,959
法人税、住民税及び事業税	4,684	4,435
法人税等調整額	3	91
法人税等合計	4,688	4,526
中間純利益	9,245	9,433
非支配株主に帰属する中間純利益	59	4
親会社株主に帰属する中間純利益	9,186	9,428

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	9,245	9,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	3
為替換算調整勘定	△24	37
退職給付に係る調整額	△14	△34
その他の包括利益合計	△37	7
中間包括利益	9,208	9,440
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	9,147	9,434
非支配株主に係る中間包括利益	60	5

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	13,934	13,959
減価償却費	1,502	1,751
減損損失	131	233
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21	—
受取利息及び受取配当金	△11	△17
支払利息	79	104
売上債権の増減額(△は増加)	△4,483	△816
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,261	717
仕入債務の増減額(△は減少)	12,408	△12,221
賞与引当金の増減額(△は減少)	△89	△173
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35	△1,011
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,722	△109
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2	10
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	△493	△60
固定資産除却損	3	22
その他	1,507	△518
小計	18,488	1,872
利息及び配当金の受取額	11	17
利息の支払額	△78	△107
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,510	△4,821
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,910	△3,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,810	△1,666
資産除去債務の履行による支出	△57	△122
保険積立金の解約による収入	—	33
短期貸付金の増減額(△は増加)	0	—
差入保証金の差入による支出	△560	△512
差入保証金の回収による収入	314	277
無形固定資産の取得による支出	△15	△149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,129	△2,140
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	123	190
長期借入れによる収入	10,964	11,395
長期借入金の返済による支出	△11,498	△10,770
自己株式の取得による支出	—	△848
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△306	△291
配当金の支払額	△5,209	△6,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,927	△7,268
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,829	△12,412
現金及び現金同等物の期首残高	85,715	96,264
現金及び現金同等物の中間期末残高	90,544	83,851

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	衣料事業	雑貨事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	70,581	46,279	116,860	222	117,082	—	117,082
外部顧客への売上高	70,581	46,279	116,860	222	117,082	—	117,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	94	94	△94	—
計	70,581	46,279	116,860	316	117,177	△94	117,082
セグメント利益又は損失(△)	8,947	5,137	14,085	△20	14,065	30	14,095

(注) 1. 「その他」に含まれる事業は、人材派遣業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額30百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「衣料事業」において60百万円、「雑貨事業」において70百万円それぞれ減損損失を計上しています。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	衣料事業	雑貨事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	74,468	47,366	121,834	96	121,931	—	121,931
外部顧客への売上高	74,468	47,366	121,834	96	121,931	—	121,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	6	94	101	△101	—
計	74,475	47,366	121,841	190	122,032	△101	121,931
セグメント利益又は損失(△)	9,424	4,814	14,238	0	14,238	15	14,254

- (注) 1. 「その他」に含まれる事業は、地方創生事業等であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額15百万円であります。
 3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「衣料事業」において140百万円、「雑貨事業」において56百万円、「その他」において37百万円それぞれ減損損失を計上しています。